

2022年度 事業報告

一般社団法人日立青年会議所 2022年度

第56代理事長 荒蒔 義嗣

2022年度 日立青年会議所は、「我以外皆我師～すっごいよ！一体感！」をスローガンに掲げ、様々なJC運動を推進してまいりました。2020年度からの全国的に新型コロナウイルス感染症が蔓延しているが、流行から3年が経ち、新たなチャレンジをする事でコロナ禍前に戻れるよう、市民が現地で参加できる事業を行う事にフォーカスし、1年間邁進してきました。

1月の通常総会では皆様に2022年度の方針をお話しさせていただく予定でしたが、新型コロナウイルスの感染が拡大したため、来賓をお招きせずメンバーのみのハイブリットでの開催でスタートを切りました。2月例会「拡大会議～考えようJCの未来～」では、メンバーの拡大意識を醸成し積極的に拡大活動に取り組むための例会を開催しました。3月例会「真のJAYCEEへの道からGO ACTION～」では、姉妹JCの栃木青年会議所の大和久友信君をお招きし、理念共有型セミナーを実施しました。我々の課題や考え方など、自分達を見つめ直し能動的に仕事やJC活動につなげるための例会を開催しました。5月第1例会「絆のバーベキュー～すっごいよ！一体感！～」では、メンバー間での友情を強固にし、一体感を生み出すために、バーベキューというツールで懇親を深めることが出来ました。5月第2例会「ひたちさくらクエスト～桜の守り人～」では、日立のシンボルである桜にまつわる歴史を学び、その桜が植栽されてから70年以上たち、老化が進み、倒木などの危険が高まっていることなどを知っていただき、多くの市民に桜の現状を理解してもらい、市民全体で桜を守る事業を開催しました。6月例会「ひたちリアル宝探し～日立市の秘宝を探せ～」では、日立市の文化や歴史など魅力を再確認し、日立市への郷土愛を育むことで持続可能な町にしていくための事業を開催しました。この事業は子供500人、保護者を含めると1000人以上の方が参加し、多くの市民へ我々の思いが伝わった事業だと感じました。7月例会「次年度理事長予定者と語ろう」では、第57代理事長予定者に宇佐美大輔君が当選し、思いを存分に語っていただきました。8月例会「一から覚える議案書上程」では、新入会員を中心に青年会議所の事業で必要な資料作りや事業構築について学んでいただきました。

9月例会「臨時総会」では、数年ぶりに来賓をお招きし、盛大に開催させていただきました。11月第1例会「職業体験～ひたちワクワクWORK～」では、日立市内の小学生を対象に日立市役所にて職業体験を開催しました。地元企業の方々に協力いただきまして、子供たちにさまざまな仕事を体験していただくことが出来ました。11月第2例会「日立JC家族例会～Thanks Giving Day～」では、メンバーの家族に日頃の感謝を伝える家族例会を開催しました。そして12月例会「卒業、ここから始まる New next step 40」では、卒業式を開催し、5名のメンバーが卒業されました。それぞれ

の卒業生がJ C活動を振りかえり、それぞれの想いをスピーチしていただきました。

このように、全ての事業を止めることなく12回の例会を開催できたのも、メンバー一人ひとりの力があってからに他なりません。そして、先輩方や関係各諸団体の皆様に関しましても、ご協力ご支援ありがとうございました。

一年間本当にありがとうございました。